



熊本県立玉名高等学校

玉名高等学校附属中学校

所在地 〒865-0064 熊本県玉名市中1853

校長 廣瀬 光昭

電話番号 0968-73-2101

FAX 0968-73-3436

ホームページ <https://sh.higo.ed.jp/tamana/>

交通機関 JR玉名駅から徒歩5分

九州産交バス「玉名高校前バス停」から徒歩1分



「白亜の殿堂」と呼ばれる本館（文化庁登録有形文化財）



**オープン
スクール
2024**
全日制
7月24日
(水)
附属中
7月30日
(火)

1 在籍者数（令和6年5月1日現在）

【高校全日制（普通科）】

1年生		2年生		3年生		合計	
男	女	男	女	男	女	男	女
139	126	145	128	105	123	389	377
265		273		228		766	

【高校定時制（普通科）】

1年生		2年生		3年生		4年生		合計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
8	7	6	3	5	2	3	3	22	15
15		9		7		6		37	

【附属中学校】

1年生		2年生		3年生		合計	
男	女	男	女	男	女	男	女
35	35	30	41	36	34	101	110
70		71		70		211	

2 学校の沿革

本校は、明治36年に開校した熊本県立熊本中学校玉名分校（明治39年に熊本県立玉名中学校として独立）と、明治45年に開校した熊本県玉名郡立実科高等女学校（大正12年に熊本県立高瀬高等女学校と改称）を前身に、昭和23年の学制改革により熊本県立玉名高等学校となりました。平成23年には玉名高等学校附属中学校を併設し、昨年度（令和5年度）創立120年を迎えた伝統校です。

卒業生数は4万人を超え、なかには、日本人初のオリンピック選手としてストックホルム大会に出場した金栗四三、映画「男はつらいよ」シリーズに柴又帝釈天の住職役で出演した笠智衆、「念ずれば花ひらく」をはじめ数多くの詩を残した坂村真民などの著名人も輩出しています。

3 教育方針および教育目標

校訓「**至誠・剛健・進取**」の具現化に努め、「徳・体・知」の調和がとれた全人教育をめざします。

「**健康・礼儀・努力・継続**」～何事にも一生懸命頑張る玉高生・玉附生～をスローガンに掲げ、自ら学び考える創造性と情熱豊かな生徒の育成、他の人も自分も大切にする生徒の育成、故郷や日本、世界に貢献しようとする生徒を育成します。

4 重点課題と取組

高校（全日制）では、生徒の8割以上が4年制国公立大学進学を希望している状況のもと、「県内有数の進学拠点校として、心を育て、全国難関大等への進学を実現」することを重点課題として取り組んでいます。

附属中学校は開校14年目を迎えました。併設型中高一貫教育校の特性を生かした「先取り学習指導」や「深さや広さを追究する学習指導」について、中高の連携・接続をより一層深めるため、令和3年度から高校に「特進クラス」を設置しました。

高校（定時制）では、「働きながら学ぶ」生徒一人一人の個性を大切に、①健全な心身の育成、②学力の向上と進路指導の充実、③地域や保護者に信頼される学校づくりに取り組んでいます。

5 教育活動の特色

【体育祭】

高校全日制と附属中学校の合同で、5月に開催されます。生徒会役員や応援団の生徒がリーダーシップを発揮し、生徒自ら作り上げる玉高の伝統行事です。なかでも高校生が作り上げる「人文字」は有名で、大勢の皆様にご覧いただけます。



伝統の人文字「GOGO玉名」

【海外研修】

コロナ禍のなかで海外渡航ができず中止していましたが、昨年度より希望者を対象に海外研修を再開しました。異文化理解やグローバルな視点で物事を考えることの大切さなど、多くのことを実感してほしいと願っています。



【若駒祭】（文化祭）

毎年9月、高校全日制、定時制および附属中学校の合同で2日間にわたり開催されます。約3か月に及ぶ準備時間をともに過ごすことで玉高・玉附生としての一体感を高め、当日には青春のエネルギーが爆発します。



令和6年度
第77回若駒祭
9月20日（金）
21日（土）

【キャリア教育の取組】

職業観や勤労観を育み、将来の目標を明確化する機会とするため、国内外で活躍されている方々を招き、「キャリア教育講演会」を開催しています。これまで、小柴昌俊氏（ノーベル物理学受賞者）や池上彰氏（ジャーナリスト）、新井紀子氏（AI研究者、東ロボ君開発者）などの著名人にも来校していただきました。また、本校を卒業し御活躍中の諸氏、及び地元県内の企業で御活躍中の諸氏による講話「若駒キャリア塾」や、東京大学、東京工業大学、九州大学、熊本大学等の教授、准教授による出前講義「一日若駒大学」なども開催し、生徒の「夢の実現」に向けたサポートを行っています。

6 主な進路先（過去6年間の主な実績）

【高校全日制】

<国公立大学>

東京大、京都大、北海道大、東北大、名古屋大、大阪大、お茶の水女子大、神戸大、九州大、広島大、九工大、熊本大、佐賀大、長崎大、大分大、鹿児島大、熊本県立大 など

<私立大学>

慶應義塾大、早稲田大、東京理科大、青山学院大、明治大、中央大、同志社大、立命館大、関西大、関西学院大、福岡大、西南学院大、崇城大、熊本学園大 など

<医学部医学科>

千葉大、熊本大、自治医科大、など

【高校定時制】

<進学>

東海大、崇城大、久留米工業大、福岡女子短大
KCS福岡情報専門学校、熊本市立総合ビジネス専門学校 など

<就職>

熊青西九州青果、九州オルガン針、UTエイム など

7 部活動等について

【高校全日制】

体育系部活動が18、文化系部活動17があります。主な実績としては、陸上部が「令和5年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会」で入賞、水泳部が「第71回全九州高等学校水泳（競泳）競技大会」へ出場、百人一首部が「第47回全国高等学校総合文化祭」へ出場、放送部が「第70回NHK全国高校放送コンテスト」へ出場、「第45回九州高校放送コンテスト大分大会」で優勝、などがあります。

【高校定時制】

令和5年度の「熊本県高等学校定時制通信制総合体育大会」では、バドミントン男子ダブルスで優勝・準優勝するなど活躍し、熊本県代表の一員として全国大会出場を果たしました。

【附属中学校】

体育系部活動が5、文化系部活動が7あります。高校生と一緒に活動する部活動があることも附属中学校の特色です。科学部の第11回科学の甲子園ジュニア全国大会に県代表として出場、音楽部の第78回九州合唱コンクール銀賞受賞の他、全国中学生人権作文コンクールでは県で最優秀賞、全国で奨励賞を獲得するなど、様々な分野で活躍しています。

